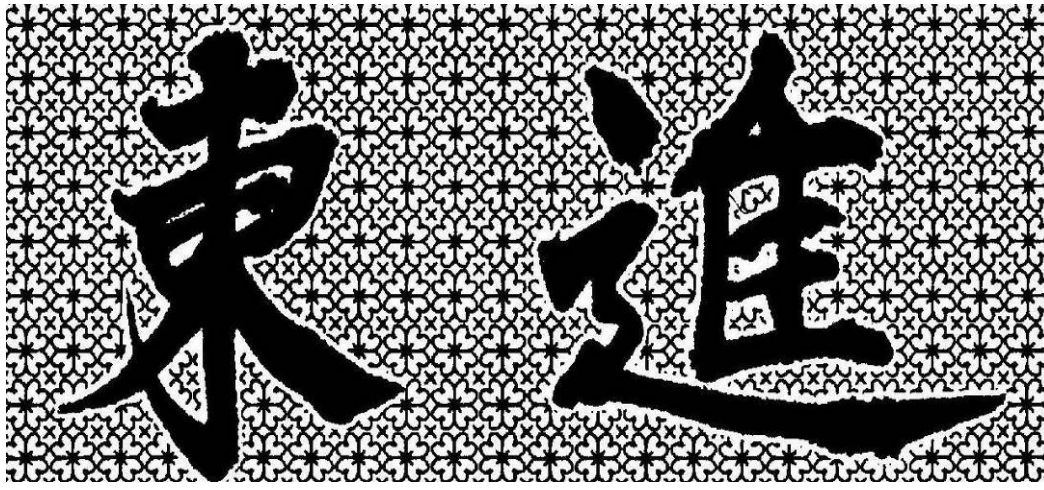


第40号

平成22年
9月20日

題 字

植 木 満
初代東進会会長

**発行所**

土浦一高東進会

〔茨城県立土浦一高
進修同窓会東京支部〕

発行人

東進会会長 大野 金一



土浦花火大会（提供：土浦市市長公室広報広聴課）

■特別講演

繋がりましょう ～豊かな人生のために～

フリーダムトレイル代表 鈴木 貴美子(昭55年卒)

■半了のささやき（第10回）

カンセイ

高山寺 半了

■平成22年度総会・懇親会風景

土浦一高 弦楽部の演奏

土浦一高 応援指導部の演技

■総会・懇親会出席者名簿**■寄 稿**

子どもの居場所はどこに？

星川 美代子（昭50年卒）

特別講演



鈴木 貴美子
昭和 55 年卒

繋がりました

豊かな人生のために

本日は、「人脈」の重要性について、仕事とプライベートの両方からお話しさせていただきます。

まずは、仕事です。

私は日本の終身雇用が崩れていることを、長期的には良いことだと捉えています。もちろん短期的にはいろいろな社会問題を生み出すので、あくまで長期的にみた場合ですが。

ご存じのとおり、日本は天然資源がなく、食料を自給できず、世界共通語である英語を話せず、そのうえ少子化に歯止めがかからず、いまさら鎖国できないとすると、このボーダーレスな世界でいろんな国と共存しながら生き残っていくしかないのです。そのためには、慣れ親しんだ環境でずっと過ごすのではなく、新しい環境にも飛び込み多様性と折り合うスキルが求められます。

日系企業、外資系企業勤務、もしくは自営という勤務スタイルに関わりなく、いろんな人とお付き合いをすることは職業人として伸びていく中で重要です。

日本の「飲みニュケーション」。外資系に

ばかり勤めていた 私はあまり好きではありません。仕事が終わってから同じメンバーで、上司や会社の愚痴を言いながらお酒を飲む楽しさ（笑）がわからないのと、仕事が終わったオフタイムには、職場とは関係ない人たちと集みたいからです。仕事からみの話をなぜ就業時間中にせず、お酒を片手にするとできるのかもまったく理解できません。

同じ部署の人、仕事で関りあいがある人とはばかり集まっていて、社外や自分の仕事と直接関係のない異業種の方々との人脈ができないことは、キャリア形成上かなりのマイナスです。以前、日本的な外資に勤めていたとき、新卒で入社して45歳になるまでその企業にいらした方に、会社都合でお辞めいただかないといけない状況が発生しました。典型的な「飲みニュケーション」

人で、社内にはゆるぎない人脈があり、何かプロジェクトをする時など、どの部署の誰に根回しするかなど頼りになる方でした。ただ、社外に出なければならなくなったと

きに、あまりに人脈がないことに驚かされました。外資の仕事の人間が、自分の転職活動を頼めるヘッドハンターとのパイプが

ないこと、アドバイスをもらえるようなメンターがいらないこと、この機会を新しいス

タートと考えられず「不安・恐れ」の感情に取りつかれてしまっていることなど、外

資系で転職をしてきた私にはびっくりすることの連続でした。

私は、外資系人事部長・マネージャーの

会の幹事を9年間、ボランティアでやって

いました。最初は10人くらいのメンバーでしたが、今は60人ほどになっています。紹介制なこともあり、お互い信頼して、いろ

んな質問や情報交換をメールでしています。この人脈の有難いことは、全員が転職経験者なので、一人5回転職しているとしたら掛け算で300社を直接カバーでき、またそれぞれの知り合いを駆使すればもっと多くの企業の人事をカバーできることです。上の方のポジションの候補者が、履歴書ではなかなかいいし面接しても好印象。ただ、人事屋さんの勘で何かがひっかかるというような場合、メンバーにメールしてレファレンス（過去の裏を取る）を頼める人がいなか探します。出来立てのベンチャーや、本当に小さな会社を除けば、まず100パーセントつきとめられ、仕事ぶりやコミュニケーション能力などを聞くことができ、その情報をもとに採用しないことも多々あります。

個人的には、アメリカ西海岸のシリコン

バレーにあるIT企業に勤めていたとき、日本の慣習を無視してアメリカ流を押し付

けようとされることが多いという体験をしました。たとえば、解雇の仕方がシリコン

バレーと同じでいい訳はないので、そのようなときはメンバーに助けを求め、他の会

社のプラクティスをエクセルシートにまとめて送ります。本社にしても、具体的なデ

ータがあれば、納得せざるを得ないので折れてくるということが数回ありました。こ

の人事の会のメンバーには助けられ、私の職業上の財産といえます。「外に目を向ける」

「社外の人と繋がる」という努力をしなかつたら生れなかった人脈です。

ここからが本題です。3年前に初めて、東進会に出席した私は驚いてしまいました。

士業の方、会社経営者の方、建築家やWE Bエンジニア、ありとあらゆる職業の方が

いらしていたのです。しかも、土浦一高の卒業生なのですから、「質」という意味でも高いレベルを期待できます。それまで、仕事をしながら人脈を社外に築くことにエネルギーを注いできた私は、「な〜んだ、この輪の中に入れていただければ、外に出る必要はなかった。もっと早く一度参加してみれば良かったなあ」という感想を抱きました。

今日、初めて参加されて、随分平均年齢の高い集まりに来てしまったと居心地が悪い方、もしいらしたら、それは3年前の私とまったく一緒です。3年前の東進会で、私は、2人のかげがえのない友に巡り会いました。職業上のアドバイスもしてもらっていますし、プライベートでもカラオケ仲間になったり、高校時代にはお互いを知らなかった者同士が、素敵な人間関係を築いています。皆さんも新しい出会いを得て、今日参加されたことを後日振り返って「良かったなあ」と思える日が必ず来ます。来年も新しい人脈作りには是非お越しく下さい。

次に、プライベートです。

私事です。5月17日に母が他界しました。この出来事は、本当に本当にこたえました。告別式、お通夜ともに、身内だけで行う予定でしたが、高校時代からの友達、一人は柏、一人は龍ヶ崎、一人は筑波から来てくれて有難かったです。周りに人もいたのに、友にとりすがって泣いてしまい、「ああ、この人たちの前では、格好悪くても情けなくても、自分のままでいられるんだなあ」と思いました。

2週間くらいして、弟が初めて晩御飯を外で食べてくるというので、誰と行くのか

と思えば、高校時代からの親友でした。K 君は母が亡くなった日、サウジアラビアに出張中でしたが、忙しなか見事な弔辞を電子メールで送ってくれたのです。文章が見事だったこともさることながら、母と弟への溢れる思いが詰まった、読む人の心を打つ弔辞でした。弟も「ああ、やつぱりどうしようもなくつらい時、会いたいのは高校時代の友達なんだなあ」と思ったそうです。

今、後ろの方にいらつしやる学生さんは、遊びや勉強や恋愛で忙しく、前へ前へと走っていて、高校時代を振り返る余裕などないかもしれません。社会人になってしばらくは、自分の居場所を職場で作ることや、家庭のことで頭がいっぱいかもしれません。でも、人生は長いのです。楽しいことばかりでなく本当につらいこともあって、山あり谷ありのような気がします。高校時代の友達を大切にしてください。あなたの大変な時を支えてくれるのは、高校時代の友ですよ。

繋がりました、輝かしいキャリア形成のために。

繋がりました、もっと豊かな人生のために。

人生の諸先輩方、まだまだ人生修業足りぬ若輩者の私にこのような機会を与えていただき、本当にありがとうございます。

すずき きみこ

フリーダムトレイル代表

半了のささやき（第10回）

カンセイ

高山寺 半了

前回の「タンジェント」は如何でしたか？ 高校時代を思い出して懐かしかった・・・それは何よりでした。今回も、お題は高校時代に遡って「カンセイ」と行きましょう。

「カンセイ」と聞いて貴方はどんな漢字を思い浮かべましたか？ **完成、陥穽、慣性、感性、管制、歓声、閑静、官制、寛政、喊声**、ざあゝとパソコンで変換しただけでも10個。人生経験豊富な皆さんは、「カンセイ」と聞いて色々な事が走馬灯のように駆け巡った事と思います。理系と文系で浮かんだ漢字も異なるかもしれませんね。

それでは、下の句に「**ホウソク**」と来たら・・・理系の御仁にはピンと来ましたね。そうです、今回はまずは「**慣性の法則**」。ご存じニュートン力学の運動の第一法則ですね。えゝ忘れちゃった。別に知らなくても生活には困らないわよ・・・御尤も。「静止している物体は外力が加わらないと静止したまま、動いている物体は等速直線運動を続ける」。思い出しましたか？ 何だ！ 我家の宿六のことか！ 何も動かず「風呂、ビール、飯、寝る」。いやゝ逆に、韓流ドラマに嵌まりパク・ヨンハの自殺に涙し

TVの前を動かず、旦那にあれこれ指示する奥様のことでしょ（笑）

先輩、御同輩の御家庭の事情はともかく、これが国となるとちと違いますね。

「**官制の法則**」これは困りものだが頑強に蔓延している。官僚・お役人は基本的に「事なかれ主義」「前例踏襲主義」「国益より省益」。つまり何も変えない、工夫しない、責任を取らない。取るのは税金からの高額給料と天下り先。因みに議院内閣制の母国・英国のOED（オックスフォード英語辞典）には、「**官僚組織**」とは「中央政府の行政管理者集団のこと。

（選挙で選ばれていないため）有権者に対して責任を負わない人々である」と明記してある。知っていましたか？ 自民党を長年繰り、今また民主党を骨抜きにしている日本の官僚組織は、原理的に正しいことをしているんですよ。脱官僚なんて言うのは戯言ですね。皆さん騙されましたか、某政党のマニフェストに。

でも、「**官制の法則**」は官僚だけでしょか。民間企業でも「創意工夫ゼロ」「幹部の役割は上意下達」。上意ならまだ良いが、意味も理解せず、「言葉」のみ伝えたら「俺は仕事をした」。そして子会社、下請けへの天下り。お役人と同じですね。官僚主義が蔓延すると会社も危ういのですよ。あの J 航空の様に。

ところで、貴方自身は大丈夫ですか。現在の自身の行動をしっかりと「仕分け」してみたら如何でしょうか。「あれゝ俺

も毎日惰性で生きているな。」と気がついた貴方は流石。そうなんですよ。「**慣性の法則**」は万物に適用されるんですよ。貴方にも私にも。

そこで今回のささやき。「**犬も歩けば望に当たる。新しいことを始めてみよう！ 新しいことは感性が何より大事。感性の法則こそ新世界を拓きますよ**」。政治が社会が・・・と言う前に、我々自身が変わらなければ何も変わらないのではないのでしょうか。

最後に下の句が「**カイカク**」と来たら何を思いますか。文系か歴女の貴方は「**寛政の改革**」ですか。江戸時代、松平定信が老中在職六年間に行った幕政改革。そして平成の現在、『憲法の内閣は「(国会) 議員内閣制」なのである。しかし実質は・・・「官僚内閣制」になっているのが大問題なのである』（菅直人著「大臣」より）。「**菅政(府)の改革**」、期待できるのかな？ 松平定信は六年間政権維持したが、菅政権は六か月持つのか？ この東進が発行される頃には結果がでているでしょうね。「平成の**菅政の改革**」が上手くいくかは、菅任せ、民主党任せでなく、我々一人ひとりがどう変わって、どう国を変えたいのか、つまり民意という外力にかかっているのではないのでしょうか。

こうざんじ はんりよう
みはたちの夢を乗せて、二脚二輪で、
シルクロード走破に挑戦しています。

平成22年度総会・懇親会が盛大に開催されました。
6月13日(日) 学士会館



土浦一高弦楽部の演奏



応援指導部による応援歌・讃歌・校歌



特別講演スピーカー
鈴木 貴美子さん



真剣に聞き入る出席者の皆さん



最年長のお二方(昭和16年旧制中学卒)
向かって右は、片岡弘安さん
向かって左は、竹島節三さん



片岡さん・竹島さんの発声で、乾杯



東進会に初めて参加された皆さん ～ 大先輩から大学生まで～



応援指導部のリードで校歌斉唱



みんなで校歌斉唱

